

第3期宮前区区民会議 第2回（仮称）地産地消部会 摘録

日 時 平成22年9月30日（木）18：00～20：00

場 所 宮前区役所 保健所1階集団教育ホール

参加者 委 員 山下委員長、恒川副委員長、河井委員、久保委員、高橋委員、
種村委員、平井委員、持田委員、直本副委員長（オブザーバー）
事務局 岩佐企画課長、豊田担当係長、白石職員、鈴木職員
佐谷コンサルタント

1 前回の振り返り

恒川 前回の議事録を確認したい。今後も前回の振り返りを行っていきたい。

山下 前はコミュニティづくりの階段イメージ、5段階の中でどこを主体とするかを話しあった。担い手づくりか、基盤となる裾野を広げるかという話があった。我々としては基盤を広げることをやっていきたい。まずは、ゆるやかな形でもいいから地域社会へ参加する人たちを増やしていくことを当面の目標としてはどうか。

活力づくり部会の議論について直本副委員長から報告してもらおう。

直本 活力づくり部会では資料2をもとに議論をした。資料の上部については了解された。下の方については、担い手づくりよりは「地域社会と接点のない層」を中心とすることになった。内容としては、地産地消部会が動的なもの、区内にある産物を取り扱うので、活力づくり部会は不動のものである地形的な特徴、山坂などを中心に考えていってはどうかということになった。

恒川 委員長が言った「ゆるやかな形での地域参加」を当面の目標としたいがどうか。

一同 了解。

2 地産地消の具体的な題材について

種村 緑にこだわりたい。小学生の時、モミジに名前を彫ったら数十年後に大きくなり、申しわけなく思っている。木に名札をつけたいと考えて道路公園センターに聞いたら、端材を持って行って良いとのことだった。それで区内の小学校は17校、1学年2000名いるそうだが、各々に名札をつくってもらってはどうか。

久保 私も緑にこだわりたい。公園の木を切るときに、それをもらってメダルをつくったりしている。宮前区で育ったものを売り、それを他の木を切るお金にするなどはどうか。木を大事にすることに区民が関わる仕組みをつくりたい。

恒川 B級グルメなどはどうか。

河井 コミュニティガーデンで地産地消をやっている。また、グリーンフォーラムでは、農をテーマにしたフォーラムをやる。地元の食材を使った美味しいレシピを投稿してもらうのも面白いのではないかな。

平井 いろいろやっていることが横につながっていないし、みんなに伝わっていないのが課題だと思った。私は「人」が気になる。地域でハーモニカをやっている人がいた。隠れた芸術家を掘り起こすのもおもしろい。

高橋 種村さんの思い出というのはヒントになると思った。マルシェを中心に活動を展開してはどうかと思う。しかし形が優先するのは危険かもしれない。河井さんの特産品

第3期宮前区区民会議 第2回（仮称）地産地消部会 摘録

を使った料理コンテストもあると思う。イベントに終わらず、継続性が大事ではないか。また、ものづくり学校で人との交流をしていくことも考えられる。サイレントマジョリティということからは、情報発信にこだわりたい。

持田 多くの人に関わるということでは、区民マラソンはどうか。ボランティアで協力すると横のつながりが持てる。また、ゆるキャラをつくる。さらに横浜市では歌があるが、川崎市には市民全員が必ず歌う事のできる歌がないので「歌」をつくるのはどうか。さらに区内の人が知っているお店や人物の紹介なども考えられる。

恒川 宮前区の特産品を出し合ってはどうか。

河井 のらぼう菜というのを作っているが、量は多くないかもしれない。

恒川 小泉さんのところではブロッコリー、大根、ほうれん草がある。

平井 農家ではいろいろなものをつくっている。それを特産物というのか。安藤さんのところは梨からイチジクに変わっている。それがなぜかを調べるのは面白いと思うが、農家で作っているものを調べてくるのはどうか。

区 まず、宮前区にはどんな産物があるのかを出し合ったらどうか。知らない情報を出し合ってはどうか。

持田 広く集めてくるのがいいのか、このメンバーで集めるのがいいのか。

恒川 このメンバーが知っていることから始めてはどうか。Mi-ru-to や2期の情報を参考にして。

山下 2期の情報は神社仏閣が多いので、もっと食べ物やグルメなどの情報を集めてはどうか。また、マラソンは活力づくり部会が中心となるかもしれない。

久保 土橋町内会の運動会ではマラソンの種目がある。

平井 宮崎町内会の運動会でもマラソンをやっている。

持田 山梨でもマラソンをやっている。参加商品がブドウ。

河井 宮前区の歌というのも面白い。合唱コンクールで取り組むといいのではないか。

持田 川崎市の歌が浸透していない。

高橋 川崎市の歌は3つぐらいある。

河井 イベントで使うと覚えてもらえる。詩を募集して地域の人に作曲・演奏してもらう。

直本 神奈川県民の歌を広げようと知事ががんばっている。

平井 川崎合唱まつりでは川崎市の歌を歌っている。

高橋 CDも出ている。観光協会では誰かを観光大使にしたいと思っている。野菜はけっこう種類があるので出すのはどうか。宮前ロールは誰かが仕掛けたのか？

河井 宮前ロールは大木さんの卵がもとになっている。

平井 情報はたくさんある。それをどうしたら区民に届けられるか。

高橋 ポータルサイトにみんなでアップしていけばいいのではないか。

恒川 宮前育ちを出してはどうか。

河井 農産物についてはフォーラムで都市農家に聞いて調べてくる。

恒川 メロンは1軒しかやっていない。

平井 この前、木に名札をつけたときに木の愛称をつけてもらった。ヒマラヤスギを「巨人くん」など。

第3期宮前区区民会議 第2回（仮称）地産地消部会 摘録

種村 雑木にも名前をつけてもらってはどうか。

河井 緑化推進重点地区の委員になることになった。来年は宮崎台、宮前平駅周辺で、取り組むと助成金がでるようだ。

恒川 これまでの話は3つに分かれる。木、人材、食べ物・お店。部会としてはどこをやっていくか。自分としては宮前育ちのもの。食べ物やお店がいいと思う。

久保 一般的な食べ物やお店の情報に興味がないが、信頼できる人がもっている情報だと興味がある。ものづくり学校の「人」の方に興味がある。ボラポイントなど。

山下 今日はネタ探していいと思う。

直本 部会として方向を付けていく必要があるのではないかと。地産地消だと産物にこだわってしまう。また、全国的に使われている。

地産は「“地”域の人たちが“参”加できる」という考え方はどうか。また、宮前育ちのものを知るといふ「知」。消は自信を持ってお奨めできるという「奨」。地産地消の言葉のイメージを変えてはどうか。

高橋 このメンバーは地産地消が当たり前だと思っている。しかし、トウモロコシなど区内農産物は生産量が少ないので、広報したことで殺到してしまい、すぐになくなるという恐れがある。

種村 ブルーベリーも量が少ない。

恒川 卵も2000羽と買いやすいわけではない。しかし、売切御免でもいいのではないかと。

平井 すでに情報発信しているのではないかと。

恒川 情報発信のしかけを考えてはどうか。

河井 ケーブルテレビなどの別の方法を考えるのはいいと思う。

久保 どんなものを伝えたいかということか。また誰にというのは区民全員か？顔の見えない区民に伝えるのは難しい。

区 3期はコミュニティづくりをやっていく、そのきっかけが地産地消。宮前区のことを知らない人たちを地域社会に引き込むというのが必要ではないかと。

区 ツールを出し合ってはどうか。

久保 地産地消が動き始めているのに、同じことをやるのはどうか。既にやっていることの取りこぼしみたいなことをやるならいいが。この部会は何を目指しているのか。

高橋 情報発信だけではダメだと思う。

持田 区民全員に広げていくのは大変。また、作っている人たちの紹介も必要。

種村 隙間を縫ってでっかいものをつくるというのはどうやればいいかと？

持田 全部の情報が揃ったものをつくるということか。

山下 町会難民という人もいます。普通の町会も2~3割は町会に入っていない人がいます。その人たちに宮前区のよさを知ってもらおう。

持田 宿題を出してもらいたい。情報を集めることは難しくない。仕掛けをどうするかを考えてくるのか？

恒川 今日は、人、緑、食べ物が出たと思う。

区 今日の議論を整理して、その後に宿題を出したい。

高橋 観光協会でも宮前区の歌を考えているが、それは様子を見る。

第3期宮前区区民会議 第2回（仮称）地産地消部会 摘録

3 部会の名称、部会長について

山下 部会の名称が地産地消だと農業に縛られると思うが。

恒川 今日議論を企画部会で整理したい。部会のネーミングは何かあるか？

持田 次回までの宿題ということにしてほしい。

久保 内容が決まらないと名称も決まらない。

恒川 部会の名称は次にする。部会長を決めたい。継続性という点では河井さん、久保さん、持田さんあたりが推薦されると思う。

恒川 委員長、副委員長、事務局で相談するというのでよいか。

一同 了承。

4 その他

区 次回の日程は12月2日（木）の18時からとしたい。

（以上）